

やすらぎ通信

春季彼岸号

古寺再生ものがたり

最近、BSテレビを見ていたら、古民家建築再生運動先駆者のカールベックスさんが出演されていて驚いたとともに懐かしく思いました。

過疎集落であった新潟県十日町で、幾棟も古民家を再生し、二十年前平均年令七十才だった集落が、今は四十才に若返り、村おこしされた様子でした。終の棲家として移住する人、草や樹木に囲まれ自然が豊かな田舎暮らしを楽しむ人、有機野菜を食し、カフェを営む人など都会から田舎の生活に活路を見出した人が集まっています。ドイツ人の建築家カールさんは初めて十日町に来た時に、「ここに住みたい」と思い、現在ご夫妻で暮らしています。

さて私は二十数年前、お寺の移転と本堂を立て直すことに苦慮していました。番組でカールさんは当時の日本の建築を嘆き、「日本人はダイアモンドを捨てて砂利を拾っている」と、日本の素晴らしい伝統文化が詰まった古民家のすばらしさを訴え嘆いていらつしやいました。

その話に感動し、どこか古くてもいい、現代に

生かせる寺を造れないものかと、全国を回っている仏具屋さんに相談しました。運よく見つかったのが現在の三明寺の本堂のもととなる、約二百年前に建てられた千葉県茂原市日蓮宗実相寺様の本堂でした。百本近くの柱は全て太い丸柱で、組み物が素晴らしく、今の時代に建立するのはとても不可能だと建設業者さんに褒めていただきました。

カールさんの古民家再生もまた、資材を生かし現代の生活に即した形にデザインし、いつまでも長く使え、飽きのこないものです。

昔からのお寺のイメージは暗くて寒くて足が痛いのが通り相場でした。そこで、全体を椅子にして、床暖房にし、電灯も調光電球とし、使い勝手を良くしました。まさに古寺再生といったところですよ。もしも当時番組を見ていなかったら、一般的な本堂が建てられていたでしょう。

インドの修行中の話の中に、「使い古した衣をどうしますか。」「敷布をつくります」「古い敷布は」「枕の袋に」「古い枕の袋は」「床の敷物に使います」「古い敷物は」「足ふきをつくります」「古い足ふきは」「雑巾にします」この話はものを大切に使い、生かして使わなければならない事を伝える有名な話です。

かたづけが先行する時代ですが、物は「わがもの」でなく「あずかりもの」として生かして用いたいものです。

三明寺住職 大嶽正泰 合掌



節分を過ぎると春の訪れを感じます 今年の河津桜は例年より少し遅い様です 2月23日 天皇誕生日 富士山の日撮影

【檀信徒行事】

- 三月
○道了講
○久保田家ご法事
○齊藤家ご法事
○地蔵講
○高橋家ご法事
○春彼岸檀信徒供養ベトナム供養会
○大浦家ご法事
四月
○青木家・日古家ご法事
○道了講
○禮田家・斎藤家・加藤家ご法事
五月
○道了講
○大島家ご法事
○日古家ご法事
○地蔵講
○じぞう寄席

22 17 15 14 10 19 17 5 2 25 21 20 15 12 7 1
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

【三明寺やすらぎ大学】

- 土曜写経会
○日曜坐禅と法話の会
○月例坐禅会 第一月曜日
○月例写経会 第三月曜日
○御詠歌（寺族） 第一・三火曜日
【住職・寺族行持】
○東部総和会
○専念寺本葬
○連合自治会総会
○北小林総会
○宗務所婦人会総会
○宗務所寺族会総会
○長泉くすのき学級開校式法話
○文明寺晋山結制

5月28日・29日 5月20日
3月3日 3月9日 4月3日 4月10日 4月13日 5月11日
6時 6時 19時30分 10時30分 10時30分

【お知らせ】

□住職ラジオ法話

SBSラジオ
コーストFM 76.7
第四土曜日12時22分
月曜～金曜7時30分

【編集後記】

「梅経寒苦発清香」禅語の一つです。曹洞宗の祖師様方は梅の花を愛され漢詩にされています。よって御詠歌が「梅花流」と名づけられました。梅はきびしい冬の寒さを乗りこえた後、花を咲かせ清らかでかぐわしい香りを発します。また、春は若者の旅立ちの時期でもあり、今まで一生懸命努力してきたことが花開く時ですね。

世界の情勢、感染状況等、不安は常に身近にあります。遠い将来は描けなくても、今できることを行動にし、今日一日を大切に過ごしたいものです。

年会費・墓地管理費等の口座引き落とし
四月は墓地管理費等の会費をご指定の口座より引き落としさせていただきます。再請求の無いように必ず残高の確認をお願い致します。
経理担当者より

ちびたい

作・ケンイチロー
オーシマ
画・茶畑り



令和四年三月一日 第八十二号(四季)
発行所 曹洞宗 愛鷹山 三明禅寺
編集 大嶽 正 泰
住所 沼津市大岡三明寺四〇五一
電話 055・929・2323
FAX 055・929・2324
URL http://www.samyouji.com
メール info@samyouji.com

除夜の鐘 正月初祈禱 12/31



鎮火祭や飲食は自粛しましたが除夜の鐘と初祈禱は実施しました



1/6 出初め式のはしごのり とび職の皆さん



大晦日 本堂前のお灯明



曹洞宗婦人会では東南アジアの子供たちのために
翻訳した絵本を作り、学校に贈っています



御詠歌にも検定があります
合格してホットひと息！(^~)！



元旦、家族と弟子が揃いました 住職は今年喜寿、寺族は還暦になります
難しい世の中になっていますが、お寺が皆様のよりどころとなるよう精進してまいります

節分祭 大般若祈禱 1/30



儀式のはじまりは梅花流の御詠歌です



本尊様に蜜湯、お菓子、お茶をお供えします



ご祈禱を申し込まれた方へのみの参列にご協力いただきました



般若心経の速読、太鼓の音は圧巻です



住職より、ありがたい理趣経を両肩に当ててもらいます



大般若経を転読し各家の家内安全等を祈願します



皆様の祈願札は郵送させていただきました 次回こそ 豆まきのできる状況に戻ることを願うばかりです

